

1 これまでの取組

- 平成19年度より地域で実施できる、父親向け子育てプログラムや妊娠期から愛着形成を促す両親教室メニューなどを開発し、市町村や地域に普及
- 父親の子育て参画には、地域だけでなく企業の理解や環境整備が不可欠なことから、30年度は企業向けイクメン・イクボス研修を実施
- 奈良県こども・子育て応援県民会議・男女共同参画県民会議(構成団体60団体)で父親の子育て参画の取組等について議論

2 本県の子育ての現状と課題

1 データが表す母親の「孤育て」 その解消のためには 父親の子育て参画は不可欠

- ・男性の通勤時間(片道60分以上)
31.3% (全国4位) [H30住宅・土地統計調査]
- ・男性の長時間労働(週60時間以上勤務)
13.6% (全国14位) [H29就業構造基本調査]
- ・男性の帰宅時間
19:46 (全国ワースト4位) [H28社会生活基本調査]

2 母親の精神的・身体的負担があるのは、「産後すぐ」 その軽減のためには産後早期の父親の関わりが重要

H30奈良県結婚・子育て実態調査より

- ・子育てに精神的不安感・負担感のある母親 約50%
- ・母親の子育ての一番しんどい時期は「新生児期」・「乳児期」
- ・育児の夫婦の分担状況 妻に8~9割偏っている
- ・夫が子育てに関われない理由 仕事が忙しいが約8割

一方で、県内企業でも働き方改革の一環として、父親の育休取得をめざす企業が増加

3 男性の育休取得を進めたいと考える企業でも、何をやれば 良いかが分からないこと、また社員を一堂に集める研修の困難 さが課題

(平成30年度イクボス研修での声)

3 令和2年度取組

奈良県パパ産休プロジェクト

【実施目的】

- 夫婦で一体感をもって子育てができる環境・風土づくりを推進するため、父親の自己学習や企業内研修で使用・実施できる研修ツールを作成し、普及をめざす。
- 育休を取ることを目的にするのではなく、父親が主体的に子育てに取り組み、夫婦がともに喜びを分かち合えるような子育てについて、まできを父親や企業に考えてもらう。

【実施内容】

- 研修ツールはパワーポイントのスライド形式の動画で、パソコンやスマートフォンで気軽に見られるものを作成
- 県庁職員にアンケートを取り、子育ての体験談などを研修ツールに盛り込む

「奈良県パパ産休プロジェクト」研修ツールの内容

- ・男性の育児参画・育休取得はメリットがいっぱい!
- ・産後~8週間に育休「パパ産休」をとろう!
- ・奈良県の男性は育休をとってる?
- ・男性が育休が取れない理由はなぜだろう?
- ・ママの身体と心の変化 赤ちゃんのいる生活
- ・奈良県の先輩パパに聞いてみた!
育休を取得して良かったこと・心配だったこと
- ・奈良県の先輩パパ・ママに聞いてみた! 家事・育児参画の5つのポイント
- ・育児休業をとるために準備すること
- ・育児のパパ・ママのための支援サービス
- ・「家事・育児分担シミュレーションシート」の活用方法



- 試作版を作成し、県内企業においてモデル研修を2回実施 (11・12月)

- 完成版はホームページに掲載予定(2月)